神川地区公民館の活動紹介

度の応援合戦は欠場したほどである。こ

うなると地区民は残念がって寂しい気持

民館活動をしていくうえで何かと難しく 成された。平成24年度の町民体育大会終 く。そのような中で、地区に応援団が結 なってきた。活気がどんどんなくなってい の青年団がなくなって数年が経つ。各自 了後のことである。 治会の婦人会も殆どなくなっており、公 神川中学校が閉校して五年、神川地区

は要する。それほど大きなエネルギーを た三分の演技だが準備からかれこれ一月 うけれども三年目が何もかも難しい。たっ 必要とする種目なのである。 神川は21年 にみんなだれてくる。三日三月三年とい 年目はそれなりに集まってくれたが次箆 人に声掛けして人集めをしていた。一、 てからそのたびに協力してもらえそうな 町民体育大会の種目に応援合戦が入っ

運動会の練習の様子

びに消防団には協力依頼している。無理 習内容、回数とさすがに負担も大きくなっ 何とかしのいできたが、内容も人集めも もないことである。さて困った。どうした という相談があった。神川では行事のた てきた。次からは少し考えてくれないか 気は心。快く協力いただいた。しかし練 た。地域の元気な人たちの集まりである。 窮してきた。23年度は消防団にお願いし アも枯渇する。これまでお願いお願いで して町民体育大会の選手選考である。並 区の夏祭が終わるとすぐ地区運動会、 行事が多すぎてみんな手が回らない。地 ちになる。なぜ出なかったのかと。実際 して応援団の立ち上げ。時間もアイデ

割を決めた。さっそく応援団長は公民館 気あいあい気兼ねなく飲んで騒いでとり ということで数名の有志が応援団を立ち 運営委員会の構成員として位置づけた。 部に書記にと飲んだ勢いで各々適当に役 あえずは設立祝いである。企画部に音響 による応援団が結成されたのである。和 き集めて、20歳代から50歳代まで有志達 上げてくれた。そのネットワークで人をか である。それなら私たちがやりましょう そんな中地域に新しい力が芽生えたの

> た。地域に新しい力の誕生である。 みである。未完成だったので演技内容は とでプログラムに入れてもらった。意気込 ないかではなくて見てもらおうというこ 援団の演技も披露した。町民体育大会へ ろで皆さんからお褒めの言葉をいただい ことが大きかったと思う。併せて出演し ともかくとして地域力を印象付けられな 露したのである。重要なのは、出てくれ 行けない人も多いので地区の運動会で披 会での応援団の出演についていろんなとこ が何とも愛くるしいのである。合同運動 た神川のゆるキャラ「田の神モーモー君 今年の小学校との合同の運動会では応

いるからこそ現在の応援団の形成がある PTAと学校と地区公民館の連携充実が と思う。このあたりに今の神川の地域力 ある。これらの連携がスムースに行われて を見て取れるのである。 このような地域活動の形成の伏線には

は新しい力に無理難題を課さないことで 楽しく活動できる。楽しくやった結果が ある。子育てと同じでそっと背中を押し 地域づくりとして結果を出していく。い いと思う。気心が知れた者同士が気楽に なの居心地のいい集団となれば素晴らし い方向へ向かっていると思う。大事なこと ていい形で応援団が出来た。そこがみん 新しい力がその力を発揮する場所とし

> だからである。せっかく芽生えた地域で はいかに楽しく活動できるかがポイント くりの芽である。楽しく育ってもらいたい てあげるくらいでいいと思う。地域活動

花瀬地区公民館の活動紹介

と連呼されておりました。

中でも少ない地区公民館の一つです。 構成されています。現在の世帯数は 戸口・猪鹿倉・鳥渕の5つの自治会で 146世帯で、町内10地区の公民館の 花瀬地区には県立自然公園に指定さ 花瀬地区公民館は、原沢・池野・瀬

花瀬地区公民館の様々な活動は、花瀬 れている「花瀬自然公園」があります

自然公園を中心に行っております。

り、爽やかな汗を流します。伝統行事 行うことで、親から子供達へと伝統を 引きや、鬼火焚きの櫓の組み方などを 2月の「鬼火焚き」があり、十五夜綱 としては、9月の「十五夜まつり」や、 ラウンドゴルフ大会」があり、地区民 総出で子供からお年寄りまで一体とな 継承しています。 スポーツ行事としては、5月に「グ

石畳で第5回やまんなか音楽会が行わ 今年も、8月9日と10日に、花瀬川



子ども和紙灯籠と、ジャンボ 灯籠イラスト



制作してイベントを彩り、ジャンボ灯 紙を使った竹灯篭や、ジャンボ灯篭を 籠を観た来場者は『じえじえじぇ! れました。花瀬地区公民館からも、

ました。これからも「やまんなか音楽 等から持ち寄った野菜類を販売いたし 区の安心安全な新鮮野菜をより効果的 会」を盛り上げて行きます。 瀬ジィの耕運機市」を行い、家庭菜園 に販売する目的で、耕運機による「花 また、フードコーナーでは、花瀬

原返しを果たすことが出来ました。 川原返しだ!』を合言葉に奮闘しまし 原チーム』で参加しました。川原チー た。その結果、初の総合3位入賞で川 すが、今年は『やられたらやり返す! ムは最下位が定位置のチームでありま 先月開催された、町民体育大会で 花瀬地区は川原地区と合同の『川



やまんなか音楽会に展示した様子